

知っておきたい漢方薬のこと 服薬指導 3 ツムラ医療用漢方製剤・副作用一覧

医療関係者用

下記一覧は、適正使用と利便性を考慮し、各製品電子添文の警告、禁忌、併用禁忌と各副作用（重大な副作用・その他の副作用等）を項目別に抜粋改変し、まとめたものです。

警告、**禁忌**、**併禁** 併用禁忌、副作用の◎重大な副作用を含むもの（その他の副作用が重複するものも含む）、●その他の副作用等の詳細は、各製品電子添文をご覧ください。各製品の効能又は効果、用法及び用量、注意事項等情報の詳細は電子添文をご参照ください。

製品名 ツムラ漢方製剤 エキス顆粒（医療用）	副作用	（偽アルドステロン症※） （低カリウム血症※） （カンゾク含有量g）	間質性肺炎	肝機能障害・黄疸	心血管系症状	自律神経系症状	消化器症状	泌尿器症状	過敏症（皮膚症状）	製品名 ツムラ漢方製剤 エキス顆粒（医療用）	副作用	（偽アルドステロン症※） （低カリウム血症※） （カンゾク含有量g）	間質性肺炎	肝機能障害・黄疸	心血管系症状	自律神経系症状	消化器症状	泌尿器症状	過敏症（皮膚症状）
1 葛根湯	カクコントウ	◎ 2.0		◎		●	●	●	●	36 木防己湯	モクボウイトウ						●		●
2 葛根湯加川芎辛夷	カクコントウカ センキョウシンイ	◎ 2.0				●	●	●	●	37 半夏白朮天麻湯	ハンパ ヒヤクジュツ テンマトウ								●
3 乙字湯	オツジトウ	◎ 2.0	◎	◎			●		●	38 当帰四逆加呉茱萸生姜湯	トウキシキヤク カゴジュウ シヨウキョウトウ	◎ 2.0		●				●	●
5 安中散	アンチュウサン	◎ 1.0							●	39 苓桂朮甘湯	リョウケイ ジュツカントウ	◎ 2.0							●
6 十味敗毒湯	ジュウミハイドクトウ	◎ 1.0					●		●	40 猪苓湯	チュレイトウ							●	●
7 八味地黄丸	ハチミシオウガン			◎	● ^d		●		●	41 補中益気湯	ホチュウ エツキトウ	◎ 1.5	◎	◎				●	●
8 大柴胡湯	ダイサイコトウ		◎	◎			●		●	43 六君子湯	リクンシトウ	◎ 1.0		◎				●	●
9 小柴胡湯	ショウサイコトウ	◎ ^a 2.0	◎	◎			●	●	●	45 桂枝湯	ケイシトウ	◎ 2.0							●
10 柴胡桂枝湯	サイコケイシトウ	◎ 2.0	◎	◎			●	●	●	46 七物降下湯	シチモツ ゴウカトウ							●	●
11 柴胡桂枝乾姜湯	サイコケイシ カンキョウトウ	◎ 2.0	◎	◎					●	47 釣藤散	チョウトウサン	◎ 1.0						●	●
12 柴胡加竜骨牡蛎湯	サイコカリョウ ゴツボレイトウ		◎	◎			●	●	●	48 十全大補湯	ジュウゼン タイホトウ	◎ 1.5		◎				●	●
14 半夏瀉心湯	ハンゲシャシントウ	◎ ^禁 2.5	◎	◎					●	50 荊芥連翹湯	ケイガイ レンキョウトウ	◎ 1.0	◎	◎			◎ ^e		●
15 黄連解毒湯	オウレンゲドクトウ		◎	◎			◎ ^e		●	51 潤腸湯	ジュンチョウトウ	◎ 1.5	◎	◎				●	●
16 半夏厚朴湯	ハンゲコウボクトウ			◎					●	52 薏苡仁湯	ヨクイニントウ	◎ 2.0				●	●	●	●
17 五苓散	ゴレイサン			◎					●	53 疎経活血湯	ソケイ カツケツトウ	◎ 1.0						●	●
18 桂枝加朮附湯	ケイシカジュツブトウ	◎ 2.0			● ^d		●		●	54 抑肝散	ヨクカンサン ^{注1)}	◎ ^a 1.5	◎	◎	◎ ^b			●	●
19 小青竜湯	ショウセイリョウトウ	◎ ^禁 3.0	◎	◎		●	●	●	●	55 麻杏甘石湯	マキョウ カンセキトウ	◎ 2.0				●	●	●	●
20 防己黄耆湯	ボウイオウギトウ	◎ 1.5	◎	◎					●	56 五淋散	ゴリンサン ^禁	◎ 3.0	◎				◎ ^e		●
21 小半夏加茯苓湯	ショウハンゲカ フクリョウトウ								●	57 温清飲	ウンセイイン		◎	◎			◎ ^e		●
22 消風散	ショウフサン	◎ 1.0					●		●	58 清上防風湯	セイジョウ ボウフウトウ	◎ 1.0		◎			◎ ^e		●
23 当帰芍薬散	トウキシャクヤクサン			◎			●		●	59 治頭瘡一方	チウソウ イツボウ	◎ 1.0						●	●
24 加味逍遙散	カミショウヨウサン	◎ 1.5		◎			◎ ^e		●	60 桂枝加芍薬湯	ケイシカ シャクヤクトウ	◎ 2.0							●
25 桂枝茯苓丸	ケイシブクリョウガン			◎			●		●	61 桃核承気湯	トウカク ジョウキトウ	◎ 1.5						●	●
26 桂枝加竜骨牡蛎湯	ケイシカリョウ ゴツボレイトウ	◎ 2.0							●	62 防風通聖散	ボウフウ ツウショウサン	◎ 2.0	◎	◎		●	◎ ^e	●	●
27 麻黄湯	マオウトウ	◎ 1.5		◎		●	●	●	●	63 五積散	ゴシャクサン	◎ 1.0				●	●	●	●
28 越婢加朮湯	エツピカジュツトウ	◎ 2.0				●	●	●	●	64 炙甘草湯	シャカンソウトウ ^禁	◎ 3.0						●	●
29 麦門冬湯	バクモンドウトウ	◎ 2.0	◎	◎					●	65 帰脾湯	キヒトウ	◎ 1.0						●	●
30 真武湯	シンブトウ				● ^d		●		●	66 参蘇飲	ジンソイン	◎ 1.0							●
31 呉茱萸湯	ゴシュユトウ			◎					●	67 女神散	ニョシンサン	◎ 1.0		◎				●	●
32 人参湯	ニンジントウ ^禁	◎ 3.0							●	68 芍薬甘草湯	シャクヤク カンゾウトウ ^禁	◎ ^a 6.0	◎	◎	◎ ^c		●		●
33 大黄牡丹皮湯	ダイオウボタンピトウ						●		●	69 茯苓飲	フクリョウイン								●
34 白虎加人参湯	ヒヤクコカ ニンジントウ	◎ 2.0		◎			●		●	70 香蘇散	コウソサン	◎ 1.5							●
35 四逆散	シギャクサン	◎ 1.5							●	71 四物湯	シモツトウ							●	●

a 横紋筋融解症 b 心不全 c うっ血性心不全、心室細動、心室頻拍 d 心悸亢進、のぼせ e 腸間膜静脈硬化症（表中の肝機能障害は「肝機能異常」も含む）
注1)「54抑肝散」には精神神経系副作用、傾眠も報告されています。 ※低カリウム血症の結果としてミオパチーがあらわれることがある。

知っておきたい漢方薬のこと 服薬指導 3 ツムラ医療用漢方製剤・副作用一覧

医療関係者用

下記一覧は、適正使用と利便性を考慮し、各製品電子添文の警告、禁忌、併用禁忌と各副作用（重大な副作用・その他の副作用等）を項目別に抜粋改変し、まとめたものです。
警告、**禁忌**、**併禁** 併用禁忌、副作用の◎重大な副作用を含むもの（その他の副作用が重複するものも含む）、●その他の副作用等の詳細は、各製品電子添文をご覧ください。
 各製品の効能又は効果、用法及び用量、注意事項等情報の詳細は電子添文をご参照ください。

製品名 ツムラ漢方製剤 エキス顆粒（医療用）	副作用	偽アルドステロン症 （低カリウム血症※） （カンゾウ含有量g）	間質性肺炎	肝機能障害・黄疸	心血管系症状	自律神経系症状	消化器症状	泌尿器症状	過敏症（皮膚症状）
72 甘麦大棗湯	カンバクタイソウトウ 禁	◎5.0							
73 柴陷湯	サイカントウ	◎1.5							●
74 調胃承気湯	チヨウイジョウキトウ	◎1.0					●		
75 四君子湯	シクンシトウ	◎1.0							●
76 竜胆瀉肝湯	リョウタンシヤカントウ	◎1.0	◎	◎			◎e		
77 芎帰膠艾湯	キョウキキョウガイトウ 禁	◎3.0					●		
78 麻杏薤甘湯	マキョウヨクカントウ	◎2.0					●	●	
79 平胃散	ヘイサン	◎1.0							
80 柴胡清肝湯	サイコセイカントウ	◎1.5					◎e		
81 二陳湯	ニチントウ	◎1.0							
82 桂枝人参湯	ケイジジンシトウ 禁	◎3.0							●
83 抑肝散加陳皮半夏	ヨクカンザンカチンヒンゲ	◎1.5					●		
84 大黄甘草湯	ダイオウカンゾウトウ	◎2.0					●		
85 神秘湯	シンピトウ	◎2.0				●	●	●	
86 当帰飲子	トウキインシ	◎1.0					●		●
87 六味丸	ロクミガン						●		
88 二朮湯	ニジュツトウ	◎1.0	◎	◎					
89 治打撲一方	チダボクイッポウ	◎1.5					●		●
90 清肺湯	セイハイトウ	◎1.0	◎	◎			◎e		
91 竹筴温胆湯	チクソウウンダントウ	◎1.0							●
92 滋陰至宝湯	ジンシホウトウ	◎1.0					●		
93 滋陰降火湯	ジンコウカトウ	◎1.5					●		
95 五虎湯	ゴコトウ	◎2.0				●	●	●	
96 柴朴湯	サイボクトウ	◎2.0	◎	◎			●	●	●
97 大防風湯	ダイボウフウトウ	◎1.5			●d		●		●
98 黄耆建中湯	オウギケンチュウトウ	◎2.0							●
99 小建中湯	ショウケンチュウトウ	◎2.0							●
100 大建中湯	ダイケンチュウトウ		◎	◎			●		●
101 升麻葛根湯	ショウマカクコントウ	◎1.5					●		
102 当帰湯	トウキトウ	◎1.0					●		●
103 酸棗仁湯	サンゾウニントウ	◎1.0					●		
104 辛夷清肺湯	シンイセイハイトウ		◎	◎			◎e		●
105 通導散	ツウドウサン	◎2.0		●			●		

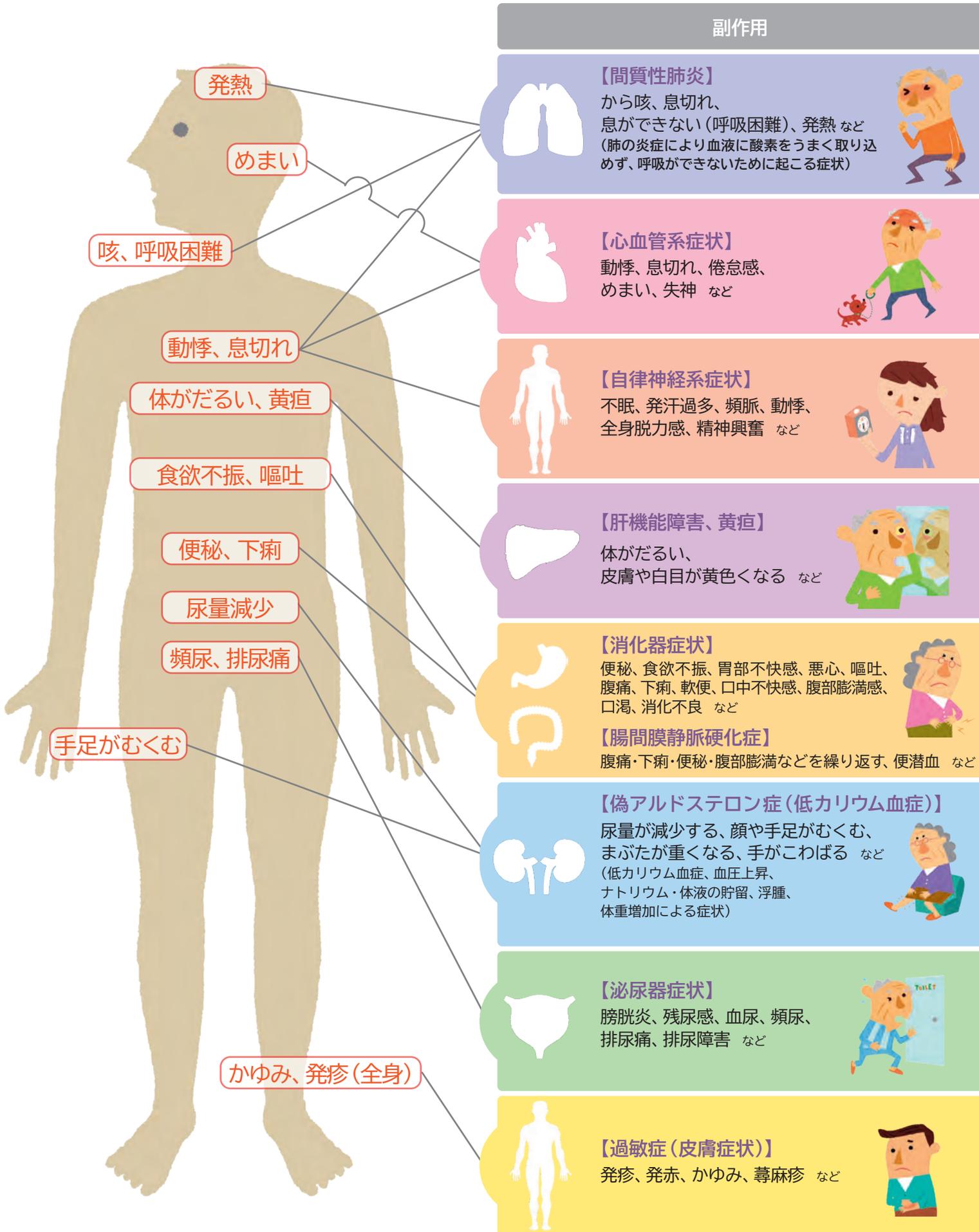
製品名 ツムラ漢方製剤 エキス顆粒（医療用） その他	副作用	偽アルドステロン症 （低カリウム血症※） （カンゾウ含有量g）	間質性肺炎	肝機能障害・黄疸	心血管系症状	自律神経系症状	消化器症状	泌尿器症状	過敏症（皮膚症状）
106 温経湯	ウンケイトウ	◎2.0					●		●
107 牛車腎気丸	ゴシャジンキガン		◎	◎	●d		●		●
108 人参養栄湯	ニンジンヨウエイトウ	◎1.0		◎			●		●
109 小柴胡湯加桔梗石膏	ショウサイゴトウカキョウセッコウ	◎2.0	◎	◎			●		●
110 立効散	リッコウサン	◎1.5							
111 清心蓮子飲	セイシンレンシイン	◎1.5	◎	◎					●
112 猪苓湯合四物湯	シヨレイトウゴウジツトウ						●		
113 三黄瀉心湯	サンオウシャントウ		◎	◎			●		
114 柴苓湯	サイレイトウ	◎2.0	◎	◎注2)			●	●	●
115 胃苓湯	イレイトウ	◎1.0							●
116 茯苓飲合半夏厚朴湯	フクリョウインゴウハンゲコウボクトウ								●
117 茵陳五苓散	インチンゴレイサン								●
118 苓姜朮甘湯	リョウキョウジュツカントウ	◎2.0							
119 苓甘姜味辛夏仁湯	リョウカンキョウミシンゲニントウ	◎2.0							
120 黄連湯	オウレントウ 禁	◎3.0							●
121 三物黄芩湯	サンモノウオウゴントウ		◎	◎			●		●
122 排膿散及湯	ハイノウサンキュウトウ 禁	◎3.0							
123 当帰建中湯	トウケンチュウトウ	◎2.0					●		●
124 川芎茶調散	センキュウチヤチョウサン	◎1.5					●		
125 桂枝茯苓丸加薏苡仁	ケイジフクリョウガンカヨクイニン						●		●
126 麻子仁丸	マシニンガン						●		
127 麻黄附子細辛湯	マオウブンサイシントウ			◎	●d	●	●	●	●
128 啓脾湯	ケイヒトウ	◎1.0							●
133 大承気湯	ダイジョウキトウ						●		
134 桂枝加芍薬大黄湯	ケイシカシャクヤクダイオウトウ	◎2.0					●		●
135 茵陳蒿湯	インチンコウトウ			◎			◎e		
136 清暑益気湯	セイショエツキトウ	◎1.0					●		●
137 加味帰脾湯	カミキヒトウ	◎1.0					◎e		●
138 桔梗湯	キョウトウ 禁	◎3.0							
501 紫雲膏	シウンコウ（軟膏） 禁								●
3020 コウジン末*							●		●
3023 プシ末*					●d		●		

*調剤用の2製品の名称は『3020ツムラの生薬コウジン末（調剤用）』『3023 日本薬局方プシ末 プシ末（調剤用）「ツムラ」』です。注2)「114柴苓湯」の肝機能の副作用には劇症肝炎も報告されています。

a 横紋筋融解症 b 心不全 c うちう性心不全、心室細動、心室頻拍 d 心悸亢進、のぼせ e 腸間膜静脈硬化症（表中の肝機能障害は「肝機能異常」も含む） ※低カリウム血症の結果としてミオパチーがあらわれることがある。

監修：日本経済大学大学院教授 赤瀬 朋秀

患者さんには、特に下記症状を注意喚起し、おかしいと思ったら薬を飲むのを中止して医師・薬剤師に相談するよう、伝えてください。



漢方薬の投与によって認められる可能性のある主な副作用と、それに伴う初期症状を示しました。漢方薬の種類により副作用や頻度は異なります。詳細は製品電子添文をご参照ください。

下記は電子添文に記載された対応・対処ほか、注意点を簡単にまとめたものです。ご了承ください。

対応・対処

投与を中止し、速やかに胸部X線、胸部CT等の検査を実施するとともに副腎皮質ホルモン剤の投与等の適切な処置を行うこと。

心不全：体液貯留、急激な体重増加、心不全症状・徴候（息切れ、心胸比拡大、胸水等）が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。（54抑肝散）

うっ血性心不全、心室細動、心室頻拍：観察（血清カリウム値の測定等）を十分に行い、動悸、息切れ、倦怠感、めまい、失神等の異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。（68芍薬甘草湯）

肝機能数値を含め、観察を十分に行い、適切な処置を行うこと。

腸間膜静脈硬化症：腹痛、下痢、便秘、腹部膨満等が繰り返しあらわれた場合、又は便潜血陽性になった場合には投与を中止し、CT、大腸内視鏡等の検査を実施するとともに、適切な処置を行うこと。なお、腸管切除術に至った症例も報告されている。

（15黄連解毒湯、24加味逍遙散、50荊芥連翹湯、56五淋散、57温清飲、58清上防風湯、62防風通聖散、76竜胆瀉肝湯、80柴胡清肝湯、90清肺湯、104辛夷清肺湯、135茵陳蒿湯、137加味帰脾湯）

観察（血清カリウム値の測定等）を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、カリウム剤の投与等の適切な処置を行うこと。

低カリウム血症によるミオパチー、横紋筋融解症

低カリウム血症の結果として、ミオパチー、横紋筋融解症があらわれることがあるので、観察を十分に行い、脱力感、筋力低下、筋肉痛、四肢痙攣・麻痺、CK上昇、血中及び尿中のミオグロビン上昇が認められた場合には投与を中止し、カリウム剤の投与等の適切な処置を行うこと。

注意すべき事項

- 黄芩を含む漢方薬（発症のおそれがあるといわれているが、原因不明な要因や、薬剤性アレルギーの場合もある。）
- 9小柴胡湯投与で、間質性肺炎が起これ、早期に適切な処理を行わない場合、死亡等の重篤な転帰に至ることもあるので、電子添文の【警告】【禁忌】【併用禁忌】等も確認すること。インターフェロン製剤との併用、肝硬変や肝癌の患者、慢性肝炎の肝機能障害で血小板数10万/mm³以下の患者には投与禁忌。

- 左記の54抑肝散及び68芍薬甘草湯を除き、「心血管系症状」の副作用はブシ末を含む漢方薬の電子添文に記載。

- 麻黄を含む漢方薬の電子添文に記載。

（厚生省薬務局副作用情報1992年より抜粋改変）

- 中・高齢者に多い。
- 長期投与
- 初期症状がない場合もある。

関連する副作用と製品名 劇症肝炎（114柴苓湯）

- 山梔子（サンシシ）を含む漢方薬の長期投与（多くは5年以上）により、大腸の色調異常、浮腫、びらん、潰瘍、狭窄を伴う腸間膜静脈硬化症があらわれるおそれがある。長期投与する場合は、定期的にCT、大腸内視鏡等の検査を行うことが望ましい。

- 50歳以上の女性、発症年齢50～70歳／男女比3:7¹⁾
- 循環器系の治療薬等との併用。
- グリチルリチン（甘草の成分）含有量含有量が多いほど発症リスクが高い²⁾。甘草を1日量として2.5g以上含有する漢方薬では、アルドステロン症、ミオパチー、低カリウム血症の患者への投与は禁忌。

1) 森本靖彦, 中島智子, 和漢医薬学会誌, 1991, 8(1), p.1.
2) 本間真人ほか, 薬学雑誌, 2006, 126(10), p.973.

- 麻黄（エフェドリン）に起因する場合もある。
- 併用薬、アレルギーに注意する。

- 過敏反応（アレルギーなど）で起こるため、どの漢方薬でも発症する可能性がある。